事務事業調書	No	784	課 名	体育課	起 案 者	梶川和由
平成23年度			係 名	庶務係	決 裁 者	早川雅己
事 業 種 別	施設管理		区 分	継続	業務一覧No	4,5,9
事務事業名	屋外体育施設管理事業				他 係名	
					他係 業務一覧No	

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 5 スポーツ 1 スポーツ 5 スポーツ施設の効率的利用と整備充実 2 総合運動公園の機能充実	予算科目(会計)		一般会計	
		予算科目(款・項・目)		50-30-15	
		総合計画以外の計画			
		関連する総合計画の施策			
性質区分	市の内部事務事業	法定受託事務	無		
根拠法令	有	体育施設の設置及び管理に関する条例			
実施方法	一部委託	委託先	民間企業		
実施期間	開 始	平成元年度	経 過	22年目	終 了		期 間	
公約・議会答弁	有	平成17年12月安城市スポーツ振興計画について多目的グラウンドの整備計画について			
陳情・市民要望	無				

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	利用者が	～になる	安心して施設利用ができる
事務事業の内容	市民が利用する施設（総合運動公園・和泉グラウンド）の整備及び管理をする			
事務事業進捗状況	平成２１年度利用者数（３３１，２９６人）内訳：陸上競技場４５，１９５人、野球場５４，２７０人、和泉公園３２，９６４人、テニスコート１１９，１４４人、多目的グラウンド４９，５０２人、ソフトボール場３０，２２１人 平成２２年度利用者数（３０４，７３４人）内訳：陸上競技場２０，３７０人、野球場６６，６９２人、和泉公園３５，３４５人、テニスコート９７，３０７人、多目的グラウンド５３，０３９人、ソフトボール場３１，９８１人			
改善・対策の履歴	利用者への安全環境・情報提供とともに利便性の向上を進めていく。			
環境配慮の視点	環境目標○－基本的施策○－具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

	項 目		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
			目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
コスト	総事業費 f=a+d+e		59,983	48,748	94,164	328,258	321,431	301,712	114,816
	財 源 計 a		59,983	48,748	94,164	328,258	313,901	290,056	100,556
	財源の内訳	国 庫 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		県 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		市 債	0	0	0	0	0	0	0
		その他( )	0	0	25,215	24,601	224,601	174,601	26,000
		一 般 財 源	59,983	48,748	68,949	303,657	89,300	115,455	74,556
	受 益 者 負 担 金		25,612	29,115	25,215	24,601	24,601	174,601	26,000
	職 員 人 件 費 d		0	0	0	0	7,530	7,530	9,413
	内 訳	従 事 職 員 数	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.25
	人事課予算分人件費 e		0	0	0	0	0	4,126	4,847

4 求める成果を得るための活動

				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名（活動内容）	委託業務	見込(単位)	50,487.00	1.00	1.00	1.00
				実績b(単位)	1.00	1.00	1.00	
		指標名(単位)	施設保守管理(一式)	活動の総事業費f 実績	48,841	45,815	51,311	
				単位コストg=f÷b 実績	48,841.00	45,815.00	51,311.00	
	活動②	活動名（活動内容）		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				
	活動③	活動名（活動内容）		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				

5（1） 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	利用者数(千人)	見込(単位)	452.00	303.00	331.00	0.00
			実績(単位)	303.00	331.00	304.00	
			達成状況	未達成	達成	未達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			
	成果2	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
			見込(単位)				
			実績(単位)				
			達成状況				
		目標成果指標値		目標達成年度			

5（2） 成果１、２以外の成果

	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
成果	平成２２年度利用者数（３０４，７３４人）内訳陸上競技場２０，３７０人、野球場６６，６９２人、和泉公園３５，３４５人、テニスコート９７，３０７人、多目的グラウンド５３，０３９人、ソフトボール場３１，９８１人 陸上競技場２種公認更新工事：内容＝トラック全天候（タータン）舗装張替え等　期間＝６月～１１月

6 単位コストと成果の分析

	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
分析	単位コスト	陸上競技場２種公認更新工事及び施設・設備の修繕
	成果1，2	陸上競技場２種公認更新工事により利用者の運動環境の向上

7 所属長の改善案

	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
改善	サッカー等の利用が多いため、陸上競技場のインフィールド及び多目的グラウンドの人工芝の調査・検討をすべきである。また土曜日・日曜日の特定の日に駐車場不足があるため、混雑時の臨時駐車場の設置を計画すべきである。

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	体育施設の整備・改修により使いやすさを向上しつつ、より多くの利用者増を図る。管理の業者委託の拡大を図る。